

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（グループホームかりんの家 評価日：2022年1月5日）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念をユニットや事務所に掲示しいつでも確認出来る様にしている。併せて法人理念もカードにて配布し共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会には加入し書面等の連絡事項は確認するも、地域包括支援センター主催の企画等に参加出来ない事が続いた。その他、近隣住民から問い合わせや認知症に対する相談の連絡をもらい交流する機会があった。	コロナ渦での面会、活動制限により利用者は外出や地域との交流が出来ない日が続いた。ホーム内で楽しく活動している姿が広報誌より窺える。		今後も感染状況、感染対策のもとに可能な限り地域との繋がりを持てるように努める。認知症に優しい地域づくりの一員としての活動にも積極的に参加する。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策に伴いR3年は文書による報告のみで活動も縮小だったが、昨年末は近隣の事業所の運営推進会議に参加させていただいた。今後は自事業所も感染状況等により集合型での開催を検討する。	1月上旬の新型コロナウイルス感染状況により、集合型会議の開催についてご案内するも、県内の感染拡大に伴い書面での報告となる。		書面での報告でも利用者やサービスの実際、事故苦情など詳しく報告出来るように努める。今後も感染状況により、集合型会議等を可能な限り検討する。
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仙台市の新型コロナウイルス感染症対策の基本方針等で定期的な連絡や検査等の協力は出来ていた。地域包括支援センターへの空室状況や入居相談をさせていただいた。	法改正や仙台市からの通知、集団指導の資料等に従い運営している。近隣施設や地域包括支援センターとも運営推進会議等を利用し共有していく。		地域包括支援センターや同地区のグループホームと日頃から連絡を取り合い、情報共有や協力関係を築けるように努める。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束等の適正化に関する指針の整備や、委員会での研修資料の準備、身体拘束の原則禁止や日常のケアにおける留意点を確認し合うよう取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止の為の対策を検討する委員会の開催や指針、マニュアルの確認と研修の実施を行っている。日常のケアの中での留意点、不適切なケアが起こっていないか日頃のケアの見直しを行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護に関する知識等職員への理解や研修は出来ていない。管理者から内外研修の企画を行う他、現在の入居者にも保佐人等と契約している方も居るので必要性等学ぶ機会を持つ様にする。			来年度は高齢者権利擁護推進研修など、外部研修も取り入れられるように検討する。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時には契約内容と重要事項の説明を適宜繰り返し伝え、利用者や家族の理解・納得が得られるように図っている。改定の際は同じく再度同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の手紙送付や連絡の他、意見箱を設置し意見や要望の聞き取りに努めている。利用者からの意見等はカンファレンス等で共有し改善や解決に取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会制限を続けており、利用者と家族が直接話す機会は作れていない。職員が聞き取りを行いケアや運営に取り入れている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所での各会議や介護職員との定期面談を開催し、意見を出しやすい雰囲気作りをしている他、意向調査アンケートも実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員個々の努力に対し評価基準に基づいた自己評価・上長評価を行っており、考課面談等を通して昇格・昇給へ反映している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年3回の評価表による自己評価・上長評価の他に、上長との考課面談を希望者に実施している。その中で目標の設定や困っている事の相談も出ている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染症対策のもと、eラーニング等を活用しての外部研修への参加や、自社で資格取得支援制度を実施しており、人材の育成に取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症への対応力やケア方法などで、専門性の部分の育成は課題。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ渦となってからは職員の外部との交流の機会は減った。役職者の自社事業所間の会議や育成等の関わりは継続している。また、近隣の同業者の運営推進会議への出席等での交流はある。			同地区の「愛の家グループホーム仙台燕沢」と運営推進会議や相互訪問により関わりを持っている。今後も協力関係を築いていきたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は利用者に対し家事手伝い等、自身の役割を持って活気ある生活を送れるよう関わりながら支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染症対策での面会制限を続けてきており、家族等馴染みの人達とは会えていなかった。写真や手紙、電話連絡での可能な限りの関わりは増やすように努めていく。	感染症対策により馴染みの人や特に場所(自宅やお店)は関係が希薄である。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は日常の関わりの中から意向の把握に努めている。得た情報は申し送りノートに記録し共有、継続的に繰り返し意向の確認を行っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と家族からの意向確認や、医療連携し課題や必要な支援内容等の検討が出来ており、現状に即した計画の立案が出来るが、チーム全員で作っていく事が課題である。	関係者との連携は出来ているも、計画作成担当者のみ中心に作成しており、もっと介護職の意見やアイデアを抽出する事が課題。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のアセスメントの情報や気付きは申し送りノートや個別記録に残してミーティングやカンファレンスで評価し介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族のその時々状況や意向等、家族等の協力を得て可能な限り柔軟に対応を心掛けるも既存サービス内で完結してしまっている。	本人や家族の意向は聞き取り出来ているが、既存サービスのみで、柔軟なサービスや多機能化に関しては近隣施設の取り組み等を参考にしたい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦となり減ってしまったが買い物や通院等地域資源を利用するようにし、少しでも残存機能を活かし買い物や手伝いを楽めるように支援している。	コロナ渦を理由に極々近場でも外出を控えている。感染症対策を行いながら来年度は可能な範囲で地域資源の活用をしながら豊かな暮らしとなるように支援したい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関の訪問診療を契約しており24時間体制で医療連携を図っている。突発的な体調変化や緊急時まで対応され本人や家族からは安心の声が聞かれている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時も協力医療機関と連携し情報の共有や退院時の受け入れ先等を相談し合っており、利用者にとって必要なサービスに繋がられている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	契約時と状態の変化時に医療見解のもと、終末期の在り方について関係各所とチームで関わっており、「人生の最終段階における医		A. 十分にできている B. ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った取り組みをしている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生時のフローチャートを整備し、ミーティングで定期的な読み合わせや内容の見直しを行っており、新任職員まで実践している			急変や事故時のフローチャートを示し、普段から医療連携や連絡網の活用をしている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時の避難訓練やマニュアル等資料の読み合わせ、見直しは行うも地域との協力体制は築けていない。	自施設内だけで取り組まず地域との協力体制を築いていく事が課題。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	尊厳や羞恥心に配慮した言葉かけと対応を行い、新任職員まで周知している。新任職員の入職時プライバシーについての研修も取り入れていく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の生活リズムを情報収集し、生活に対する意向等を聞き取りしている。得た情報は申し送りノートや引継ぎ時に共有し、改善に繋げる等本人のペースで生活できる様に支援する。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事が楽しみなものになるよう、行事企画で季節の行事食を提供したり、レクリエーションでおやつ調理等の活動を行っており、日常では盛り付けや食器拭きの役割を持って活動に参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事摂取量や水分摂取量は一日を通して把握、確保できているが、栄養士による栄養バランスの評価が定期的には出来ていなかった。一人一人の状態に合わせた食事形態への変更や介助は実施できている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科医師より介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言、指導を毎月受けており普段の口腔ケアに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄アセスメントによる個々の排泄パターンを評価し排泄介助の時間やパット等の選定を行っている。便秘予防は運動や食事内容からも取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態の変化に合わせて排泄アセスメントを行っており、1ヵ月ごとに評価をしている。個人の排泄パターンの把握に努め自立支援を行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴を楽しむ支援について、希望やタイミング等を調整し提供するも、一人一人の希望時間まで個々に沿った支援は出来ていない。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の睡眠状態について観察し、1日の中で睡眠時間が取れる様に支援しつつ、活動量や排泄アセスメントと併せた評価から夜間の安眠に繋がる様に支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人が使用している薬について、ユニットでも薬事情報(個人ファイル)を保管し常時確認できる状況にしている他、医療連携のもと症状の変化について観察と報告を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携の報告や服薬事故を防ぐ為の話し合いは朝礼やミーティングで継続して行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の生活歴を活かしてレクリエーションを企画したり、好きな動画を鑑賞、歌や制作活動を実施している。普段の関わりの中から興味のある活動を探っている。	外出や地域との関わりが出来ない反面、ホーム内の日々の関わりから興味のあるものを探り、その人に合った活動や暮らしの活性化を図るように支援している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦となり日常的な外出はほとんどできていない。感染状況を考慮しながら、以前のような買い物外出や屋外での活動への参加、家族との時間を確保できるようにしていく。	外出機会を持っていないので、外気浴など敷地内でも外に出る機会を作っていく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のお金は出納責任者と管理責任者が事務所の金庫で管理しており、希望時に本人に渡し使用している。使用後は出納長に記録を残している。			利用者より「馴染みのパーマ屋さ行きたい」と希望されるもコロナウイルス感染拡大により控えている状況。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用中の様子を毎月手紙にして送っており、利用者の顔写真やコメントの記入、希望時は電話連絡も対応している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットや廊下等、手すりを利用し自立歩行や歩行する機会を設けており、障害物の無いように環境整備している。共用空間は定期的に利用者の意向を確認し、過ごしやすい配置や制作活動で季節を表現している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	暮らしに対して意向の聞き取りを行い生活に反映するよう努めるも、満足している利用者となかなか受け入れられない利用者がある。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活歴から暮らしの継続性に留意し支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は健康面、医療面は日々のバイタル測定や訪問診療による管理のもとに生活ができおり、環境面も適宜ADL等の状況に合わせて整備している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. あまりできていない	概ねの利用者が自分のペースや習慣の生活ができているも、年齢が若くADLの自立度が高い利用者は生活環境の変化に多少馴染めない様子もあった。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時と、その後の生活からも馴染みの物や思い入れのある物が必要となれば、家族の協力を得て持ち込んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意向調査をすると、以前のように外食や観光地等への外出の希望も聞かれる事があるが、現在はできていない。外食に関してはデリバリーを利用する機会を作っている。	本人よりの戸外へ出かける意向はほとんどないが、感染対策と人込みを避けての外出機会は増やしたい。散歩や外気浴から始める。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者はその日、その日の状態に合わせてできる事、分かる事を役割として積極的に担ってもらっており、できない日は他の興味を示す内容に関わりの中から探っている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ねの利用者が他者と会話したり自分の好きな話題を話す時間が持っており、家事手伝い等で好きな活動に参加する機会も得ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人達と交流する事は出来ていないが、近隣のスーパーのネット注文等の配達時に受け取りや対応をしている。	感染状況により玄関先での来客の対応等は職員と行っているが、積極的な関わりや交流する機会は持っていない。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は在宅生活が難しくなっていた状況から、ホームに入所した事で日常生活の支援を受けられ安心した生活を送る事ができている。	帰宅願望やリロケーションダメージのある利用者はおらず、他社と関わる時間と自身のペースで過ごす時間を持っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	